

2021年3月期 第3四半期決算の概要

2021年 2月 12日



決算サマリー

	21年3月期 3Q	前年同期(末)比
経常利益	2,608億円	+ 269億円 (+ 11.5 %) 通期業績予想 3,000億円 進捗率87.0 %
四半期純利益	1,290億円	+ 140億円 (+ 12.2 %) 通期業績予想 1,570億円 進捗率82.2 %
新契約 年換算保険料	(個人保険) 223億円	△ 1,215億円 (△ 84.5 %)
	(第三分野) 10億円	△ 209億円 (△ 95.3 %)
保有契約 年換算保険料	(個人保険) 3兆9,955億円	△ 3,230億円 (△ 7.5 %)
	(第三分野) 6,797億円	△ 358億円 (△ 5.0 %)
EV	3兆9,189億円	+ 5,946億円 (+ 17.9 %)

【連結業績の状況】

- 新契約の減少に伴う事業費の減少等により、経常利益は前年同期比11.5%の増加となる2,608億円、四半期純利益は前年同期比12.2%の増加となる1,290億円となった
- 2021年3月期の業績予想について、上方修正を実施。上方修正後の業績予想に対する進捗率はそれぞれ、経常利益が87.0%、当期純利益が82.2%となった。業績予想の修正については、p11に詳細を記載

【契約の状況】

- 2020年10月5日より、お客さまにご迷惑をおかけしたことをお詫びすることを第一とする信頼回復に向けた業務運営を開始しているものの、引き続き積極的な営業活動を自粛していることから、個人保険の新契約年換算保険料は、前年同期比84.5%減の223億円、第三分野の新契約年換算保険料は、前年同期比95.3%減の10億円

【EVの状況】

- EVは前期末から金利および株価の上昇等により、17.9 %増加し、3兆9,189億円

21年3月期 第3四半期の業績（前年同期比）

連結損益計算書（要約）

	20.3期 3Q	21.3期 3Q	増減額	(億円)
経常収益	54,615	51,273	△ 3,342	72,114
保険料等収入	25,257	20,527	△ 4,730	32,455
資産運用収益	8,674	8,012	△ 661	11,377
責任準備金戻入額	19,763	21,878	2,115	27,673
経常費用	52,275	48,664	△ 3,611	69,248
保険金等支払金	46,811	44,353	△ 2,457	61,913
資産運用費用	913	531	△ 382	1,240
事業費等 ¹	4,550	3,779	△ 771	6,094
経常利益	2,339	2,608	269	2,866
特別損益	99	△ 54	△ 154	392
価格変動準備金戻入額	98	△ 53	△ 152	391
契約者配当準備金繰入額	813	685	△ 127	1,092
法人税等合計	476	578	102	659
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,150	1,290	140	1,506

注：主な勘定科目を掲載

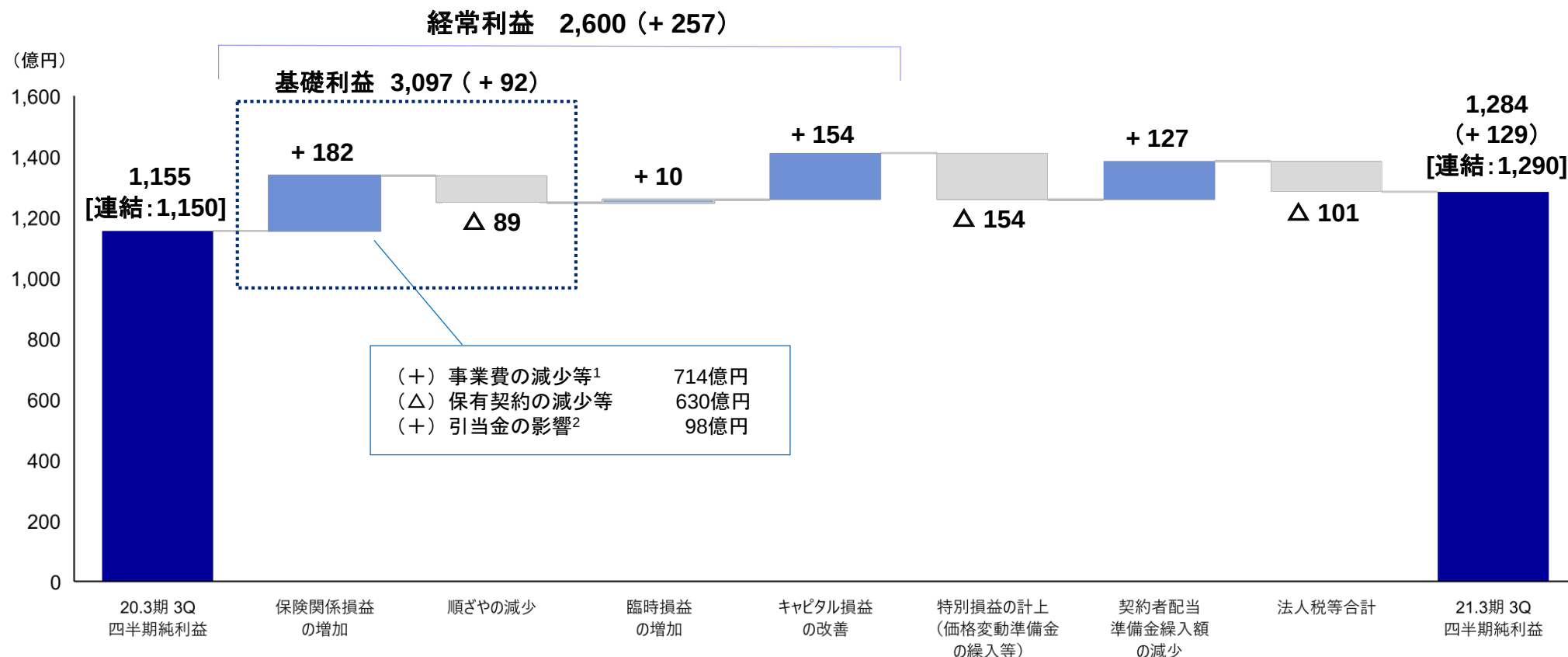
1. 事業費とその他経常費用の合計

単体 経常利益の明細（要約）

	20.3期 3Q	21.3期 3Q	増減額	(億円)
基礎利益	3,004	3,097	92	4,006
保険関係損益	2,501	2,683	182	3,201
順ざや	503	413	△ 89	804
キャピタル損益	△ 574	△ 420	154	△ 1,024
臨時損益	△ 87	△ 76	10	△ 113
経常利益	2,342	2,600	257	2,868

21年3月期 第3四半期の業績（前年同期からの変動要因：単体ベース）

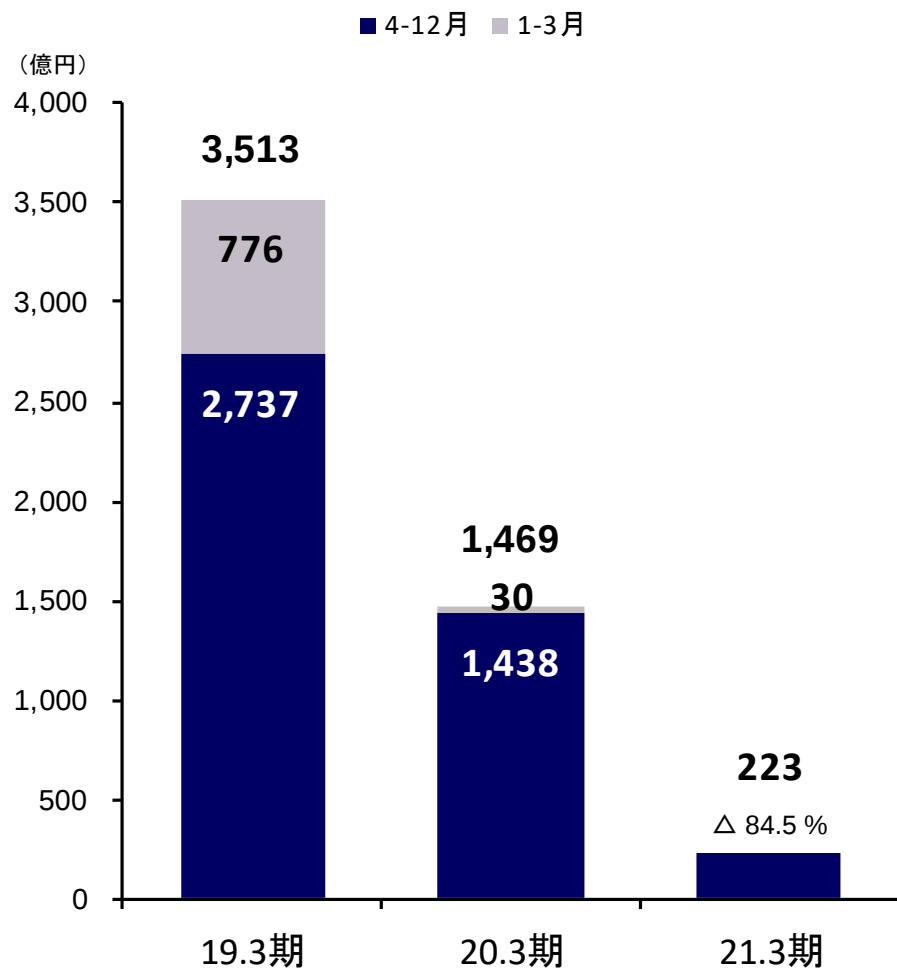
- 順ざやが減少したものの、新契約の減少に伴う事業費の減少等により保険関係損益が前年同期を大きく上回った結果、基礎利益は前年同期を上回る3,097億円となった
- キャピタル損益に対しては、その相当額の価格変動準備金を繰り入れる、または取り崩す会計処理を継続して実施。基礎利益の増加等に伴い、四半期純利益は前年同期を上回る1,284億円となった



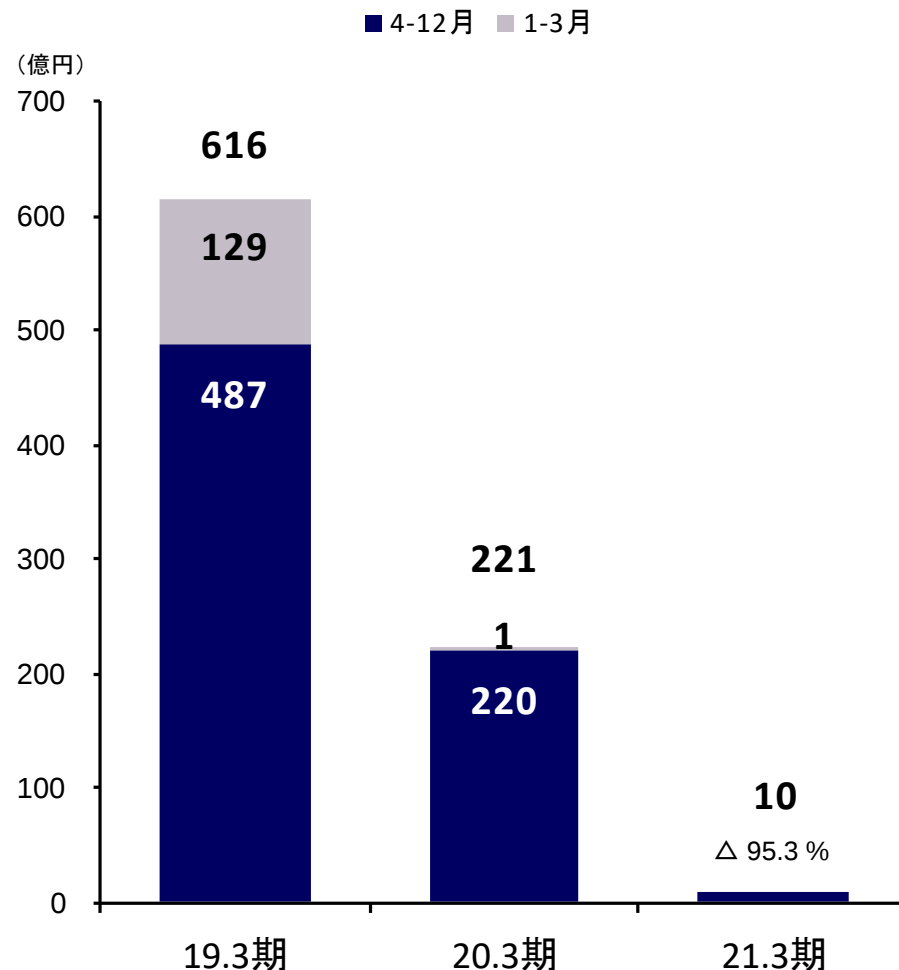
1. 事業費の減少等については、損益計算書における事業費とその他経常費用の合計につき、前期との数値の差分を計算したもの。ただし、保険金等支払引当金等の影響は、「引当金の影響」の項目に調整している
2. 契約調査の進展等を見積りに反映したことによる、保険金等支払引当金の戻入等の保険関係損益への影響額。20.3期3Qにおける保険金等支払引当金等の影響を加味している（21.3期3Q戻入額等：50億円、20.3期3Q繰入額等：47億円）

契約の状況〔新契約年換算保険料〕

新契約年換算保険料（個人保険）の推移



新契約年換算保険料（第三分野）の推移



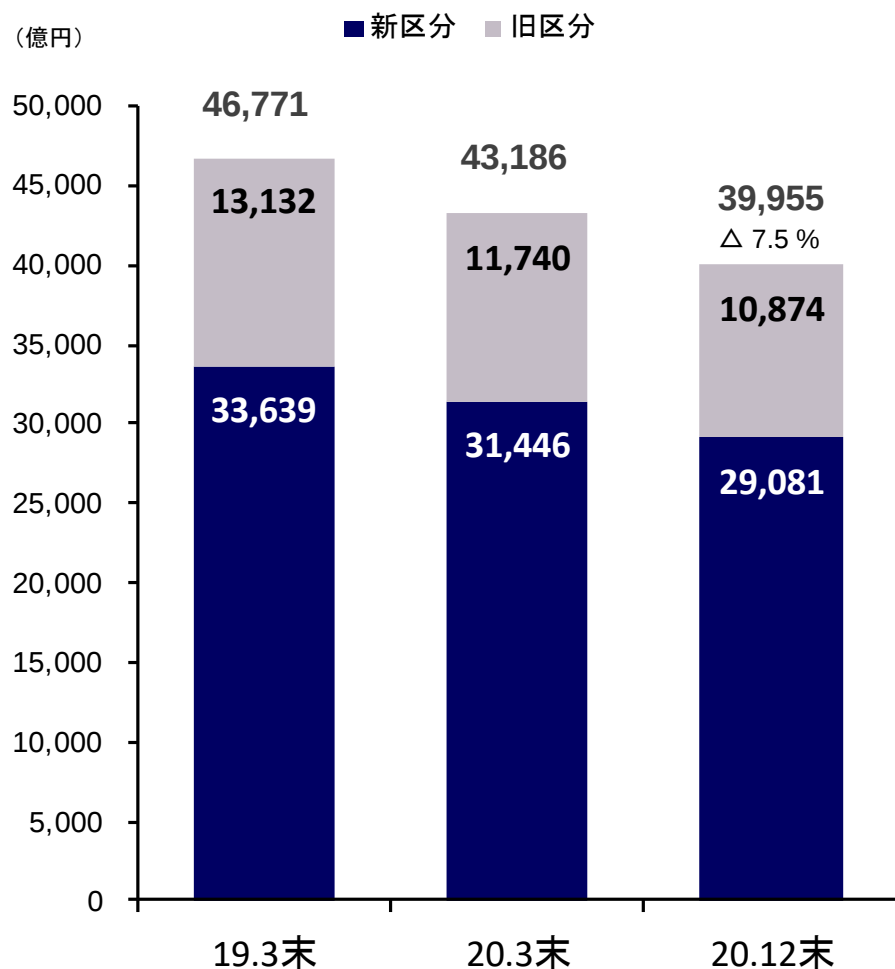
注1：年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）

第三分野は医療保障・生前給付保障等に該当する部分。年換算保険料（個人保険）には、個人保険に係る第三分野を含む

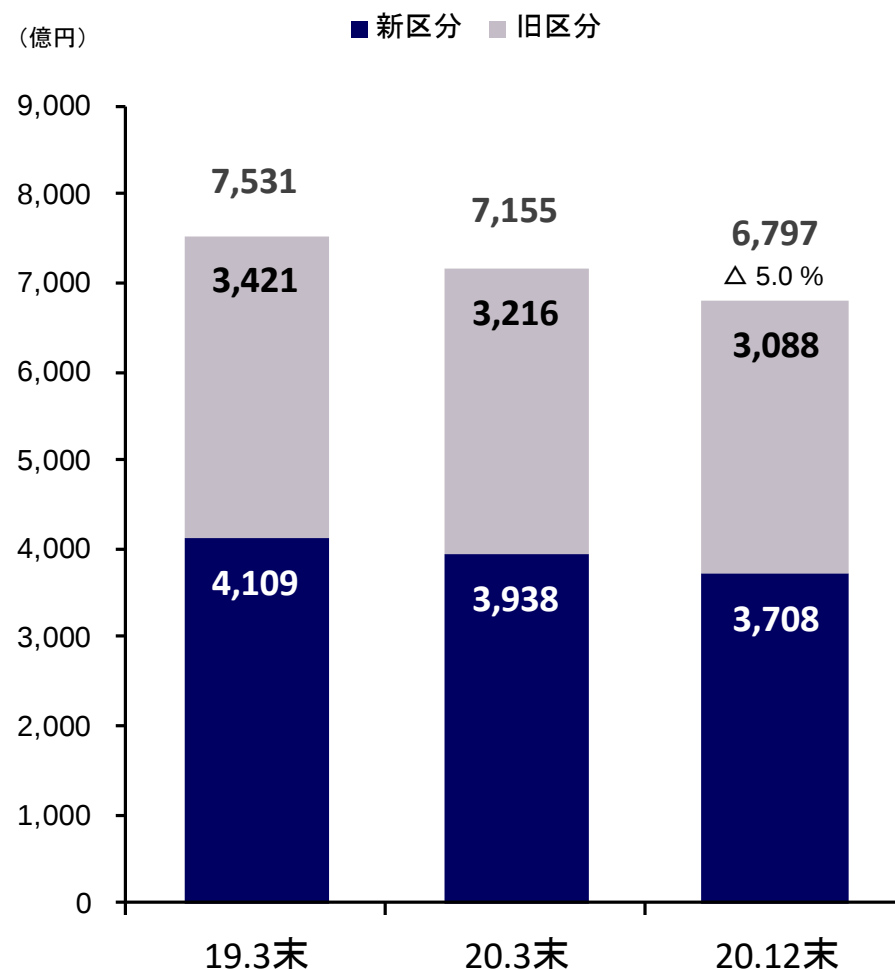
注2：20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む

契約の状況〔保有契約年換算保険料〕

保有契約年換算保険料（個人保険）の推移



保有契約年換算保険料（第三分野）の推移



注：「新区分」は、当社が引き受けた個人保険を示し、「旧区分」は、当社が独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（個人保険は簡易生命保険契約の保険に限る）を示す

資産運用の状況〔資産構成〕

資産構成

(億円)

	20.3末		20.12末		増減額
	金額	占率	金額	占率	
公社債	488,306	68.1 %	482,678	69.3 %	△ 5,628
国債	367,307	51.3 %	370,428	53.2 %	3,120
地方債	67,287	9.4 %	60,063	8.6 %	△ 7,224
社債	53,711	7.5 %	52,185	7.5 %	△ 1,525
収益追求資産 ¹	99,386	13.9 %	107,349	15.4 %	7,962
国内株式 ²	17,651	2.5 %	22,900	3.3 %	5,248
外国株式 ²	3,235	0.5 %	4,318	0.6 %	1,083
外国債券 ²	64,451	9.0 %	65,292	9.4 %	840
その他 ³	14,048	2.0 %	14,838	2.1 %	790
貸付金	56,627	7.9 %	53,165	7.6 %	△ 3,462
その他	72,327	10.1 %	53,647	7.7 %	△ 18,679
うち現預金・コールローン	17,902	2.5 %	10,799	1.5 %	△ 7,103
うち債券貸借取引 支払保証金	31,917	4.5 %	22,840	3.3 %	△ 9,076
総資産	716,647	100.0 %	696,840	100.0 %	△ 19,807

1. 収益追求資産は、貸借対照表上「金銭の信託」および「有価証券」に計上している資産のうち、資産運用目的で保有する国内外の株式、外貨建債券、投資信託等を対象としている
2. 「国内株式」、「外国株式」および「外国債券」には、個別銘柄の株式・債券のほか、それぞれの資産のみを投資対象とする投資信託を含む
3. バンクローン、マルチアセット、不動産ファンド等

順ざや・利回り

(億円)

	20.3期 3Q	21.3期 3Q	(参考) 20.3期
順ざや	503	413	804
平均予定利率 ¹	1.69 %	1.69 %	1.69 %
利子利回り ²	1.80 %	1.78 %	1.82 %
キャピタル損益	△ 574	△ 420	△ 1,024

1. 平均予定利率は、予定利息の一般勘定経過責任準備金に対する利回り
2. 利子利回りは、基礎利益上の運用収支等の一般勘定経過責任準備金に対する利回り

資産運用の状況〔有価証券の時価情報〕

有価証券の時価情報

(億円)

	20.3末			20.12末			増減額		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益
合計	590,841	666,758	75,916	582,911	660,266	77,354	△ 7,930	△ 6,491	1,438
満期保有目的の債券	357,357	419,533	62,176	353,157	408,831	55,674	△ 4,199	△ 10,701	△ 6,502
責任準備金対応債券	95,746	105,785	10,038	95,938	104,500	8,562	192	△ 1,284	△ 1,476
その他有価証券	137,737	141,439	3,701	133,815	146,933	13,118	△ 3,922	5,494	9,417
有価証券等	111,025	113,996	2,970	106,982	112,994	6,012	△ 4,043	△ 1,001	3,041
公社債	37,004	37,421	417	34,770	35,280	510	△ 2,233	△ 2,140	92
国内株式	3,220	2,812	△ 408	3,209	3,638	429	△ 11	825	837
外国証券	42,216	45,893	3,676	41,235	45,399	4,164	△ 981	△ 493	487
その他の証券	20,068	19,332	△ 735	19,110	20,001	891	△ 958	668	1,626
預金等	8,515	8,535	20	8,656	8,674	17	140	138	△ 2
金銭の信託	26,712	27,443	730	26,832	33,939	7,106	120	6,496	6,375
国内株式 ¹	13,879	14,839	959	13,993	19,261	5,268	113	4,422	4,308
外国株式 ¹	2,972	3,235	262	3,020	4,318	1,297	48	1,083	1,034
外国債券 ¹	7,360	6,984	△ 375	7,411	7,912	501	51	927	876
その他 ²	2,500	2,383	△ 116	2,407	2,446	38	△ 92	62	155

注： 本表には、時価のある有価証券のみを記載。また、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

1. 「国内株式」、「外国株式」および「外国債券」には、個別銘柄の株式・債券のほか、それぞれの資産のみを投資対象とする投資信託を含む

2. 現預金、バンクローン、不動産ファンド

経費の状況

事業費（委託手数料¹等）

（億円）

	20.3期 3Q	21.3期 3Q	増減額	（参考） 20.3期
事業費	3,688	3,025	△ 662	4,738
委託手数料	2,007	1,519	△ 488	2,487
新契約手数料	869	342	△ 527	1,009
維持・集金手数料 ²	1,138	1,177	38	1,478
拠出金 ³	431	420	△ 11	575
その他	1,248	1,085	△ 162	1,674
減価償却費	423	447	24	574

1. 日本郵便株式会社に対する委託手数料

2. 21.3期は、維持・集金手数料の単価の見直しを2021年1月に実施し、2020年4月に遡って計上

3. 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構法に基づき、郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構に支払う拠出金

健全性の状況

内部留保等の積立状況

(億円)

	20.3末	20.12末	当期 繰入額
危険準備金	17,973	18,050	76
旧区分	13,206	13,249	42
新区分	4,766	4,801	34
価格変動準備金	8,583	8,637	53
旧区分	6,319	6,253	△ 66
新区分	2,263	2,384	120
追加責任準備金	58,303	56,690	△ 1,613
旧区分	58,202	56,611	△ 1,590
新区分	100	78	△ 22

注: 「旧区分」は簡易生命保険契約区分を源泉とする金額、「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた金額

連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)

	20.3末	20.12末
連結ソルベンシー・マージン比率	1,070.9 %	1,156.7 %
ソルベンシー・マージン総額	51,616	60,689
リスクの合計額	9,638	10,493

EVの状況

EV

(億円)			
	20.3末	20.12末 ¹	増減額 (前期末比)
EV	33,242	39,189	5,946 (+ 17.9 %)
修正純資産	22,124	23,491	1,367 (+ 6.2 %)
保有契約価値	11,118	15,698	4,579 (+ 41.2 %)

新契約価値

21.3期第3四半期の新契約価値^{1,2} △ 28億円
 新契約マージン^{1,2,3} △ 1.5 %

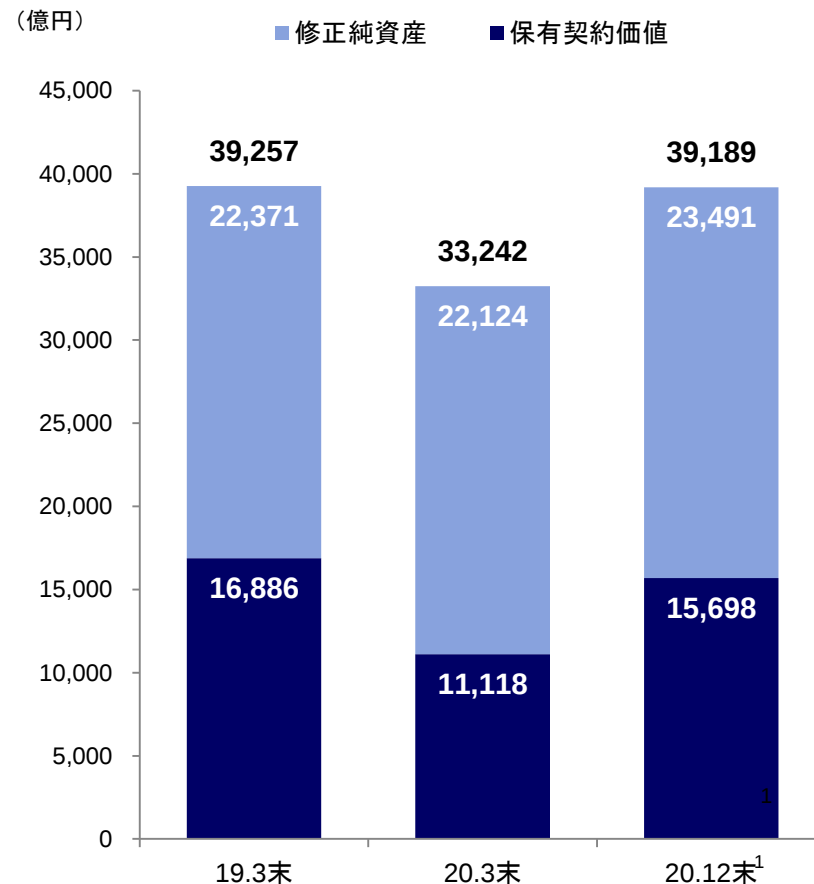
- 当社は当該期間において積極的な保険商品のご提案を控えさせていただいている一方、新契約獲得にはその多寡によらない一定の事業費等が必要となるため、新契約価値はマイナスになっている

1. 第三者の検証を受けていない試算値

2. 2020年4月から2020年12月までの新契約をベースに2020年12月末の経済前提を使用。特約の切替加入および条件付解約による価値の増減分を含む

3. 新契約価値を将来の保険料収入の現在価値で除したものの

EVの推移



21年3月期 連結業績予想の修正

連結業績予想

(億円)

	21.3期 (修正前予想)	21.3期 (修正後予想)	増減額
経常収益	68,500	67,500	△ 1,000
経常利益	2,000	3,000	+ 1,000
当期純利益 ¹	1,240	1,570	+ 330
1株当たり 当期純利益	220.47 円	279.15 円	—
1株当たり 配当金	76 円 期末配当76 円	76 円 期末配当76 円	—

【修正理由】

【経常収益】

経常収益は、当初業績予想策定時²と比較して運用環境が好転した一方で、解約が想定よりも減少していることおよび危険準備金の超過繰入れ³を見込んでいることにより責任準備金戻入額の減少を見込んでいることから下方修正します。

【経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益】

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、危険準備金の超過繰入れ³を見込んでいるものの、当初業績予想策定時²と比較して運用環境が好転したこと、保険金等の支払いが想定よりも減少することなどにより保険関係損益の増加が見込まれることを理由に、上方修正します。

1. 親会社株主に帰属する当期純利益
2. 2020年5月15日に当初業績予想を公表。当初業績予想の策定に当たっては、2020年3月末の経済前提を使用
3. 旧区分において2021年3月末に危険準備金を財源とした追加責任準備金の積立と、危険準備金の積立水準の回復を図るための基準額を超える繰入れを予定している。
ただし、関係当局に認可申請を行い、認可を取得することが前提

21年3月期 連結業績予想

連結業績予想

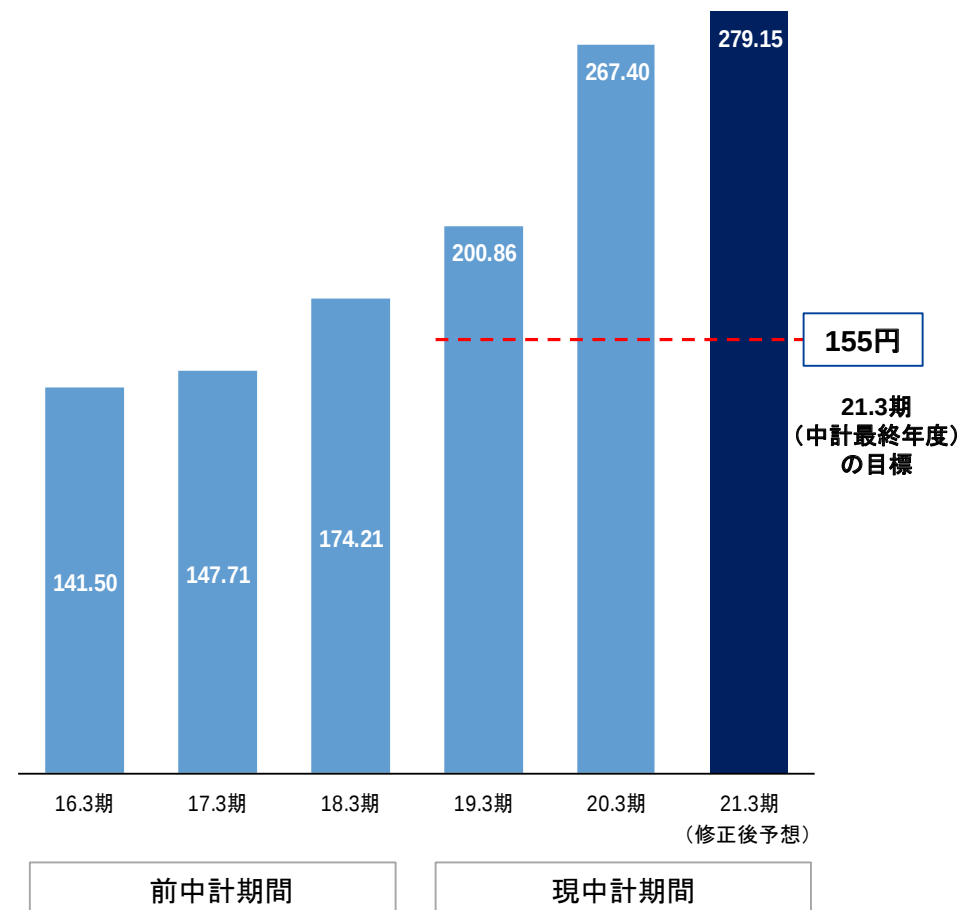
(億円)

	21.3期 3Q	21.3期 (修正後予想)	進捗率
経常収益	51,273	67,500	76.0 %
経常利益	2,608	3,000	87.0 %
当期純利益 ¹	1,290	1,570	82.2 %
1株当たり 当期純利益	229.39 円	279.15 円	82.2 %

1. 親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益の推移

(円)



株主還元

株主還元方針

- 株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ
- 今後の利益見通し、財務の健全性を考慮しつつ、安定的な1株当たり配当を目指す

21年3月期の株主還元等

- 普通配当を1株につき76円（予想）とする
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を慎重に見極める必要があるため、中間配当は行わず、期末配当のみとする予定

（当社は本日、業績予想の修正を実施いたしましたが、配当予想については、2020年5月15日の公表値76円からの変更はございません）

株主還元の推移

（総還元性向）

39.6 %

40.6 %

39.0 %

118.9 %²

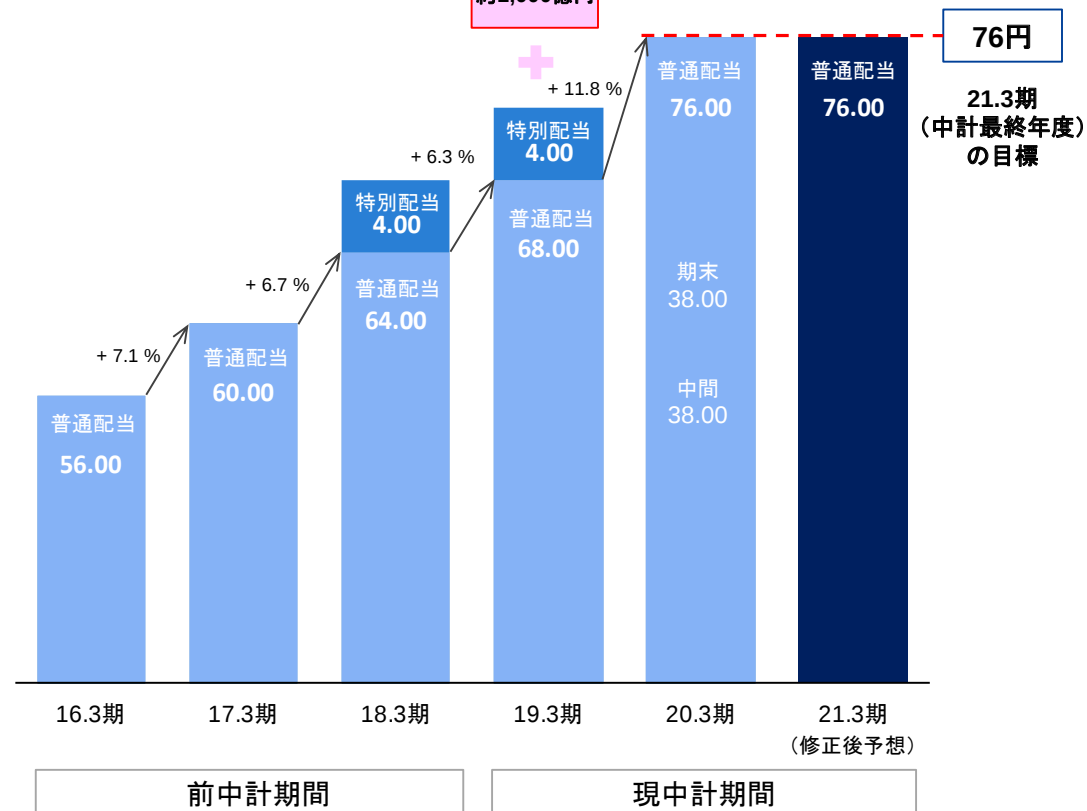
28.4 %

27.2 %

（円）

（予想）

自己株式
取得¹
約1,000億円



1. 2019年4月に自己株式の取得を実施

2. 1に記載の自己株式の取得を含めた総還元性向

APPENDIX

連結貸借対照表（要約）

連結貸借対照表（要約）

（億円）

	20.3末	20.12末	増減額
資産	716,647	696,840	△ 19,807
現金及び預貯金	14,102	9,599	△ 4,503
金銭の信託	30,560	38,039	7,478
有価証券	558,705	553,617	△ 5,087
貸付金	56,627	53,165	△ 3,462
有形固定資産	1,102	1,053	△ 48
無形固定資産	1,350	1,158	△ 191
繰延税金資産	11,737	9,137	△ 2,600

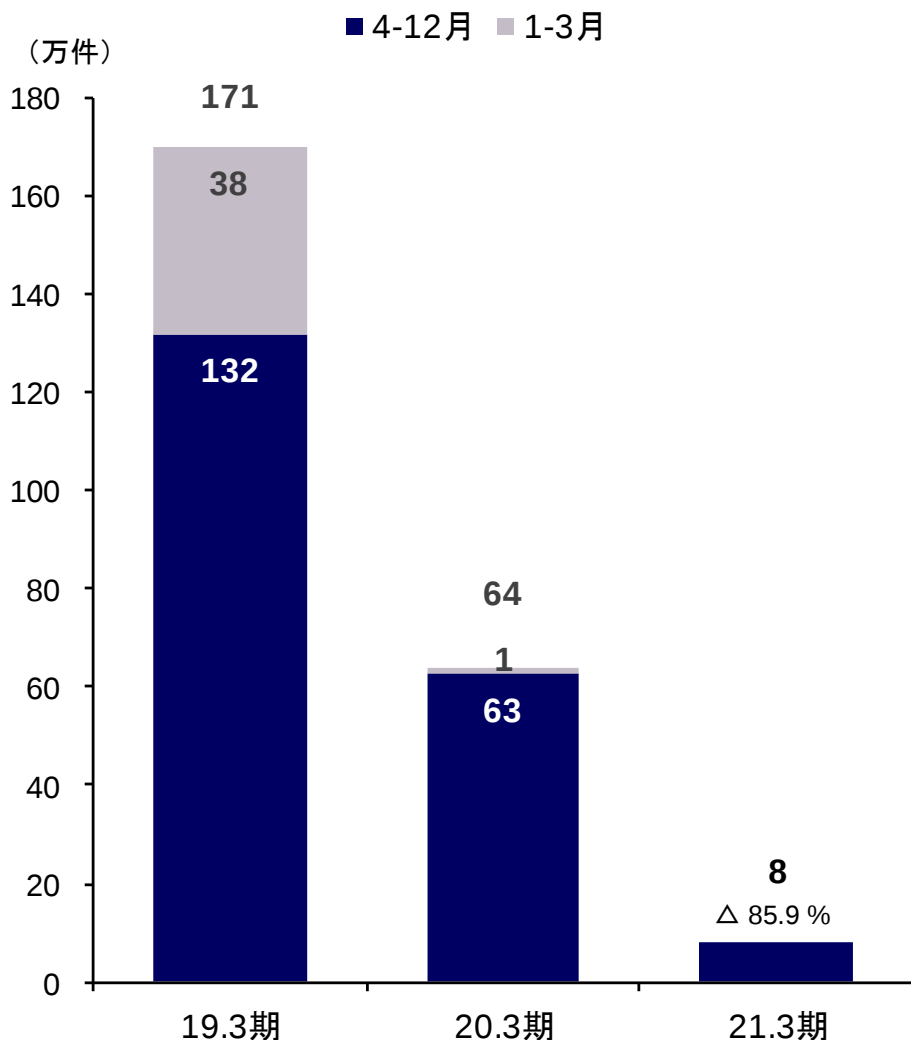
	20.3末	20.12末	増減額
負債 ¹	697,364	669,723	△ 27,640
責任準備金	622,931	601,052	△ 21,878
うち危険準備金	17,973	18,050	76
うち追加責任準備金	58,303	56,690	△ 1,613
社債	1,000	1,000	-
価格変動準備金	8,583	8,637	53
純資産	19,283	27,116	7,832
株主資本合計	16,612	17,689	1,076
資本金	5,000	5,000	-
資本剰余金	4,050	4,050	-
利益剰余金	7,566	8,643	1,076
自己株式	△ 4	△ 3	0
その他の包括利益 累計額合計	2,670	9,427	6,756

注：主な勘定科目を掲載

1. 保険金等支払引当金（20.3末 297億円、20.12末 46億円、増減額 △250億円）を含む

契約の状況〔新契約件数〕

新契約件数（個人保険）の推移



注: 20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む

新契約の内訳

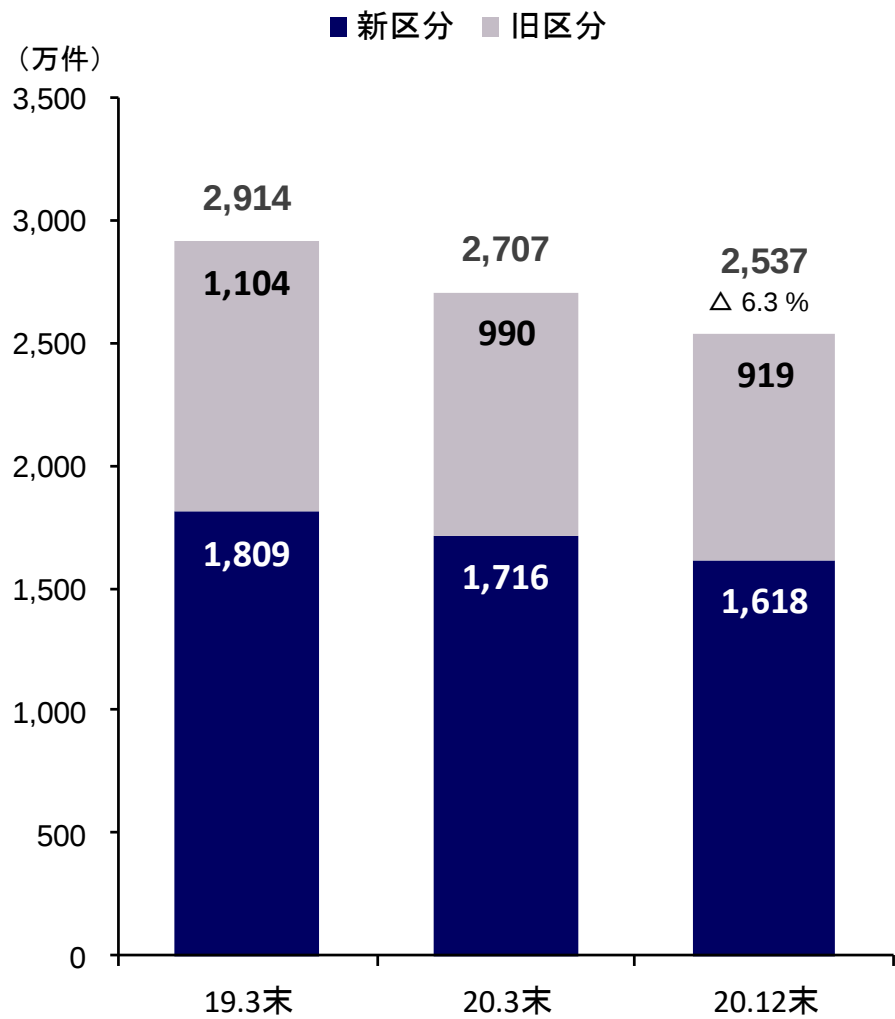
(万件)

	20.3期 3Q		21.3期 3Q	
	件数	占率	件数	占率
個人保険	63	100.0 %	8	100.0 %
養老	33	53.0 %	6	72.9 %
普通養老	18	28.7 %	4	53.9 %
普通養老 (引受基準 緩和型)	3	5.3 %	0	1.3 %
特別養老	12	18.9 %	1	17.8 %
終身	25	39.7 %	0	9.7 %
普通終身 (定額型)	6	9.5 %	0	2.2 %
普通終身 (引受基準 緩和型)	6	10.2 %	0	0.5 %
普通終身 (倍型)	10	16.2 %	0	5.4 %
特別終身	2	3.9 %	0	1.6 %
学資	4	7.2 %	1	17.2 %
その他	0	0.1 %	0	0.2 %

注: 主な商品を掲載

契約の状況〔保有契約件数〕

保有契約件数（個人保険）の推移



注：「新区分」は、当社が引き受けた個人保険を示し、「旧区分」は、当社が独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を示す



保有契約の内訳

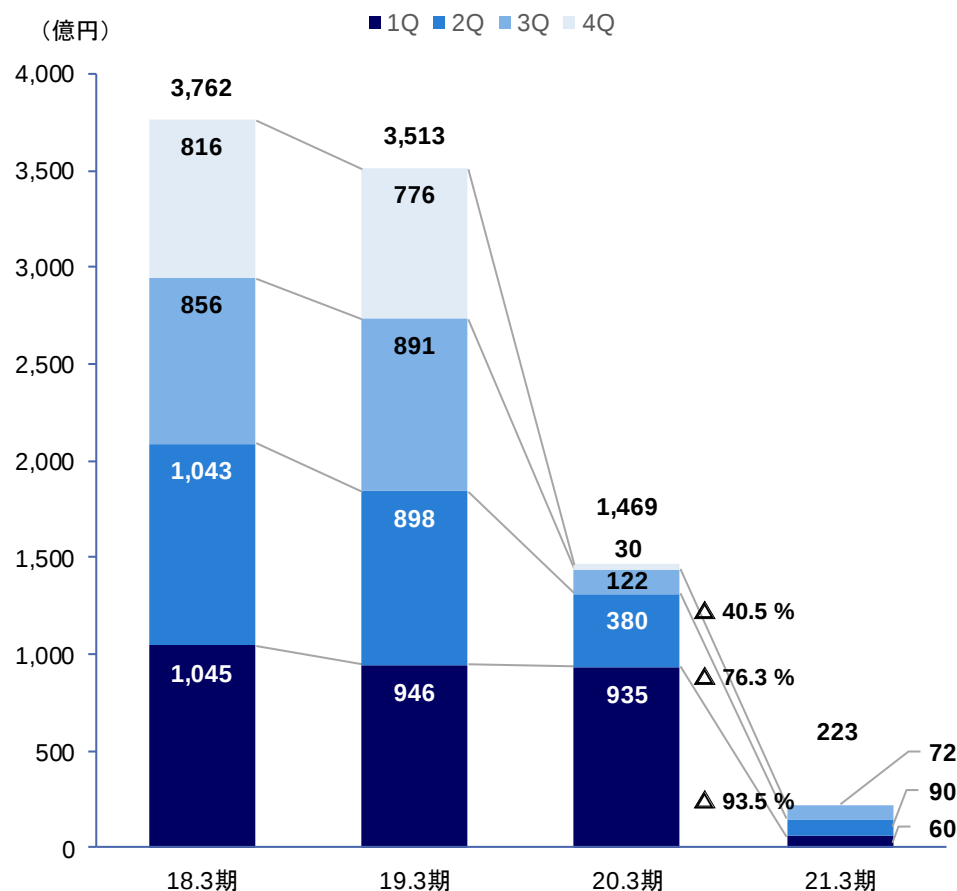
(万件)

	20.3末		20.12末	
	件数	占率	件数	占率
個人保険	2,707	100.0 %	2,537	100.0 %
養老	1,041	38.5 %	937	36.9 %
普通養老	668	24.7 %	602	23.7 %
普通養老（引受基準緩和型）	3	0.1 %	3	0.1 %
特別養老	363	13.4 %	329	13.0 %
終身	1,259	46.5 %	1,219	48.1 %
普通終身（定額型）	393	14.5 %	377	14.9 %
普通終身（引受基準緩和型）	5	0.2 %	5	0.2 %
普通終身（倍型）	273	10.1 %	265	10.4 %
特別終身	585	21.6 %	570	22.5 %
学資	393	14.5 %	367	14.5 %
その他	13	0.5 %	13	0.5 %

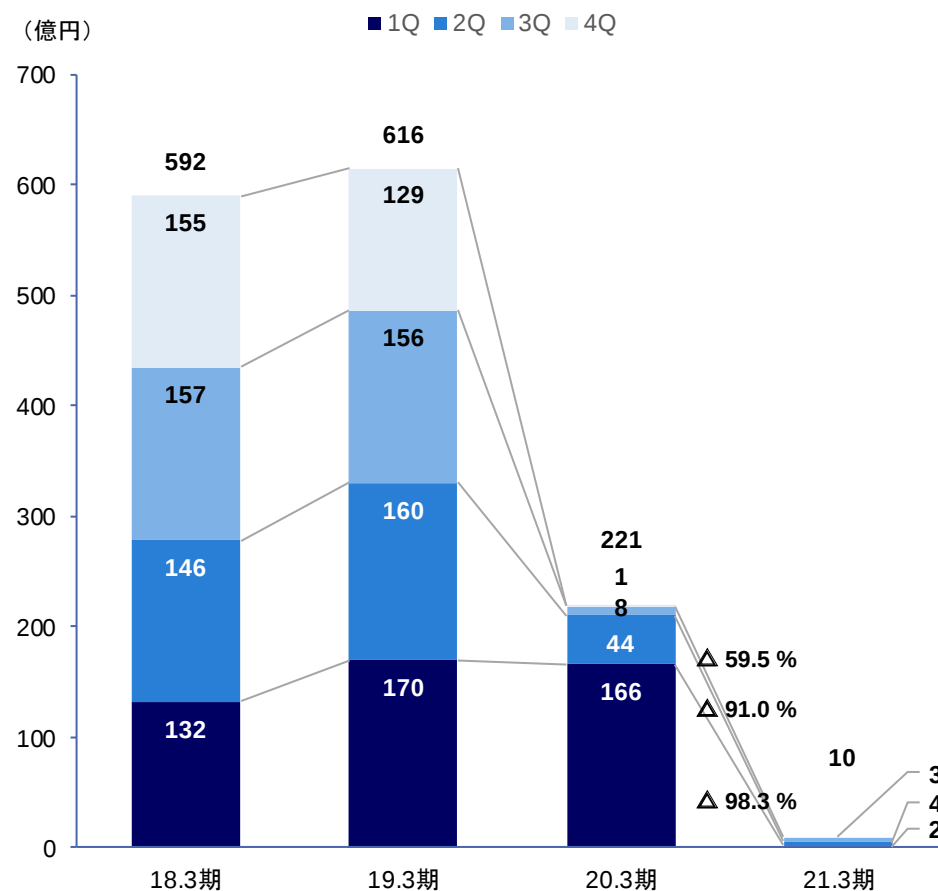
注：主な商品を掲載

新契約年換算保険料の四半期推移

新契約年換算保険料（個人保険）の推移



新契約年換算保険料（第三分野）の推移



注1: 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）

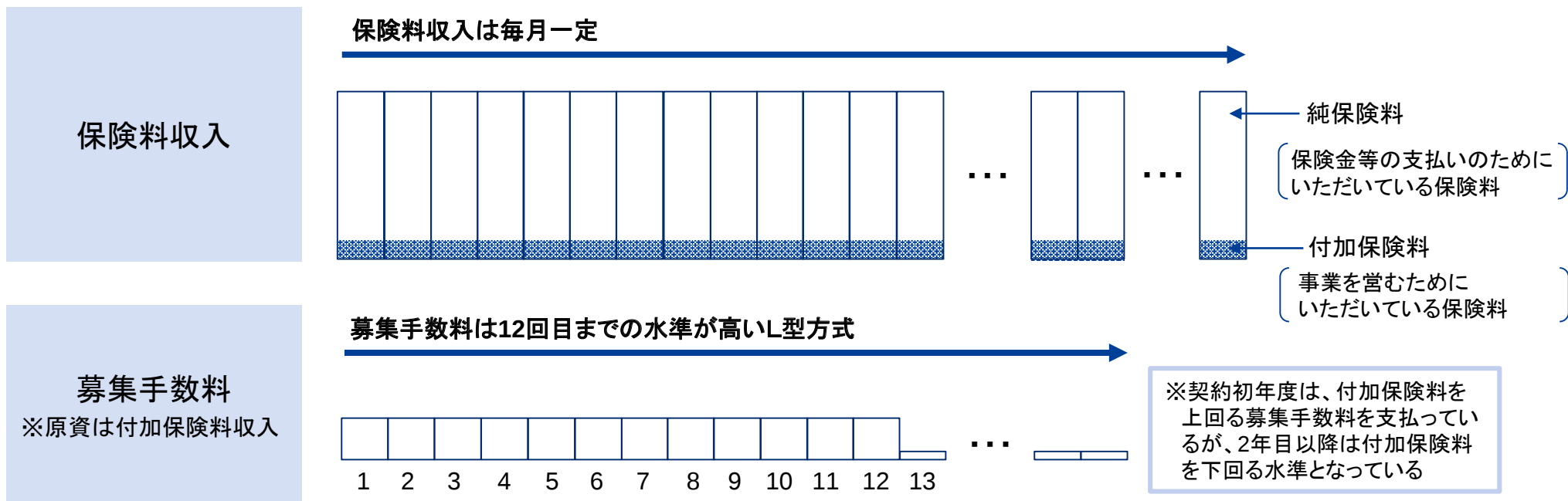
第三分野は医療保障・生前給付保障等に該当する部分。年換算保険料（個人保険）には、個人保険に係る第三分野を含む

注2: 20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む

営業実績が低迷することによる損益への影響

- お客さまからいただく保険料のうち、かんぽ生命が事業を営むためにいただいている付加保険料は、毎月一定額をいただいている。この付加保険料を原資として、毎月、日本郵便に募集手数料を支払っているが、その支払方法は、12回目までの水準が高いL型方式であるため、新規契約が増加するほど、かんぽ生命の損益は悪化する
- 新規契約が大幅に減少した場合、事業費等の減少が、かんぽ生命の損益の増加の一因となる。ただし、これは短期的な影響であり、中長期的に見れば、新規契約の減少はかんぽ生命の損益にマイナスの影響を及ぼす

<保険料の収納と募集手数料の支払のイメージ(契約1件のモデル)>



利配収入およびキャピタル損益の状況

資産運用収益の内訳

	20.3期 3Q	21.3期 3Q	(億円) (参考) 20.3期
資産運用収入	8,674	8,012	11,377
利息及び配当金等収入	7,934	7,530	10,498
預貯金利息	0	0	0
有価証券利息・配当金	6,979	6,722	9,240
公社債利息	5,753	5,519	7,620
株式配当金	37	44	76
外国証券利息配当金	999	851	1,297
その他	188	307	246
貸付金利息	110	100	146
機構貸付利息	807	662	1,058
不動産賃貸料	-	-	-
その他利息配当金	36	44	51

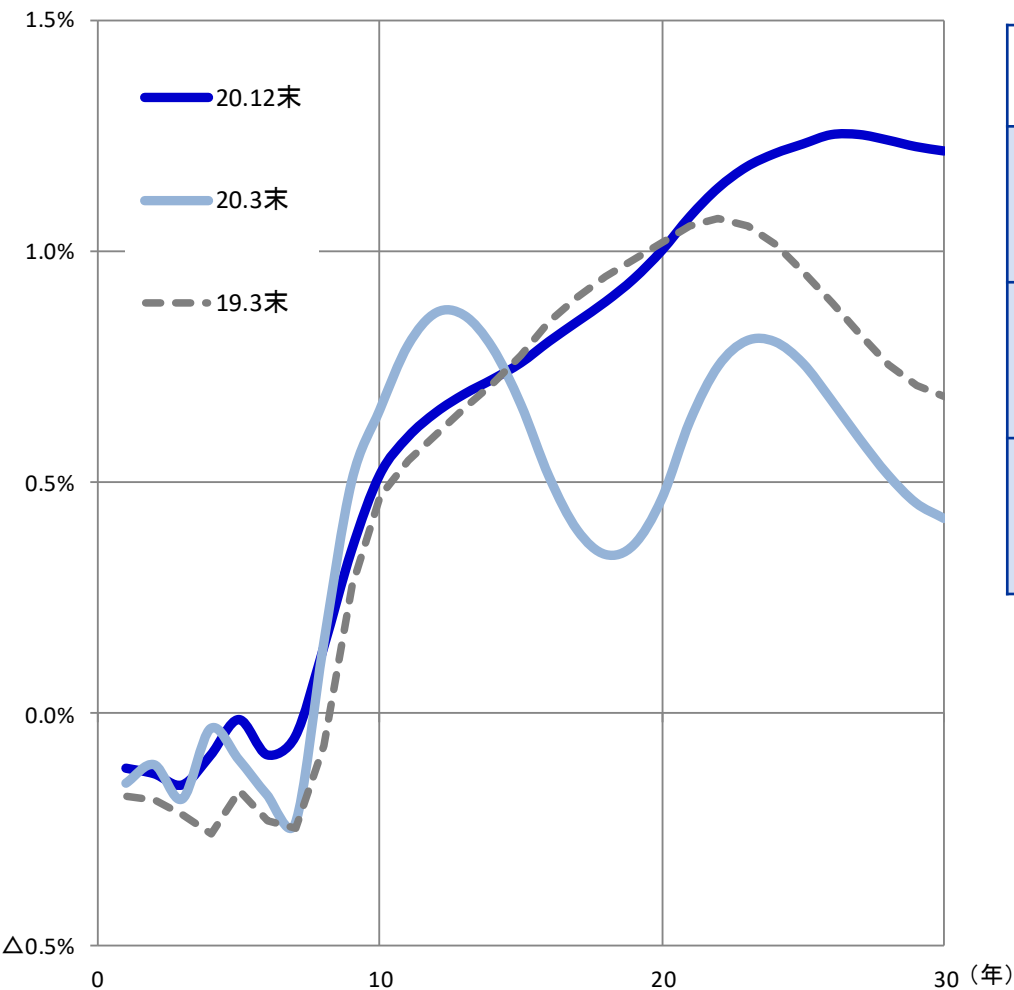
キャピタル損益の内訳

	20.3期 3Q	21.3期 3Q	(億円) (参考) 20.3期
キャピタル収益	734	472	872
金銭の信託運用益	443	276	515
有価証券売却益	290	169	356
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	26	-
その他キャピタル収益	-	-	-
キャピタル費用	△ 1,308	△ 892	△ 1,896
金銭の信託運用損	-	-	-
有価証券売却損	△ 201	△ 241	△ 320
有価証券評価損	-	-	△ 26
金融派生商品費用	△ 598	△ 166	△ 747
為替差損	△ 23	-	△ 20
その他キャピタル費用 ¹	△ 484	△ 484	△ 780
キャピタル損益	△ 574	△ 420	△ 1,024

1. 「その他キャピタル費用」には、金銭の信託に係るインカム・ゲインに相当する額を計上

金利（EVの前提条件）¹の変動

フォワード・レート（19.3-20.12）



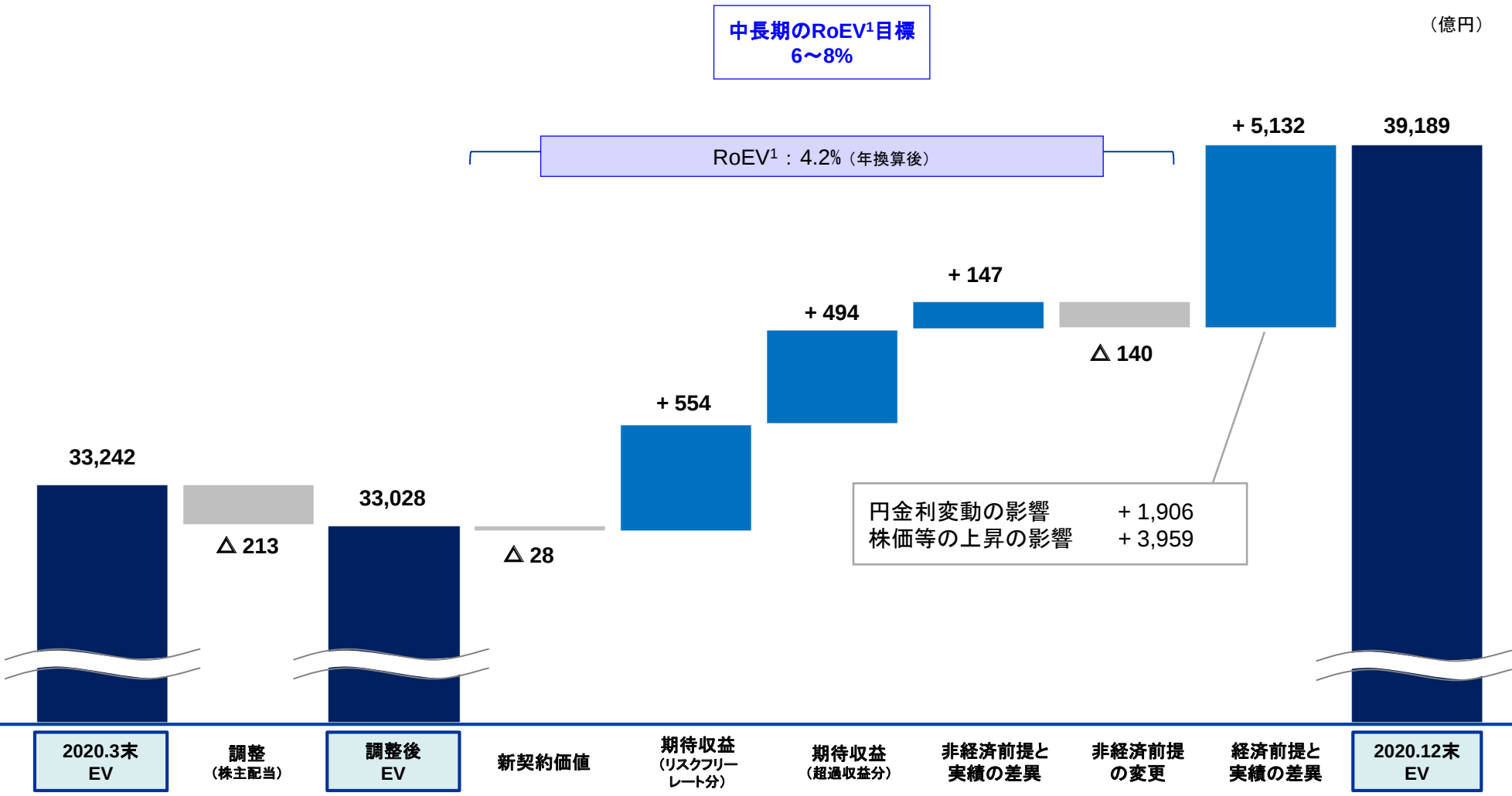
フォワード・レートの推移

	19.3末	20.3末 ^①	20.12末 ^②
10年	0.471 %	0.657 %	0.516 %
20年	1.017 %	0.466 %	1.001 %
30年	0.683 %	0.422 %	1.216 %

注：EVおよび新契約価値の計算に用いた経済前提は以下のとおり
2020年3月末EV：①
2021年3月期3Qの新契約価値：②
2020年12月末EV：②

1. 金利（EVの前提条件）は、財務省公表の国債の流通利回りを基に作成したフォワード・レートを使用

EVの変動要因



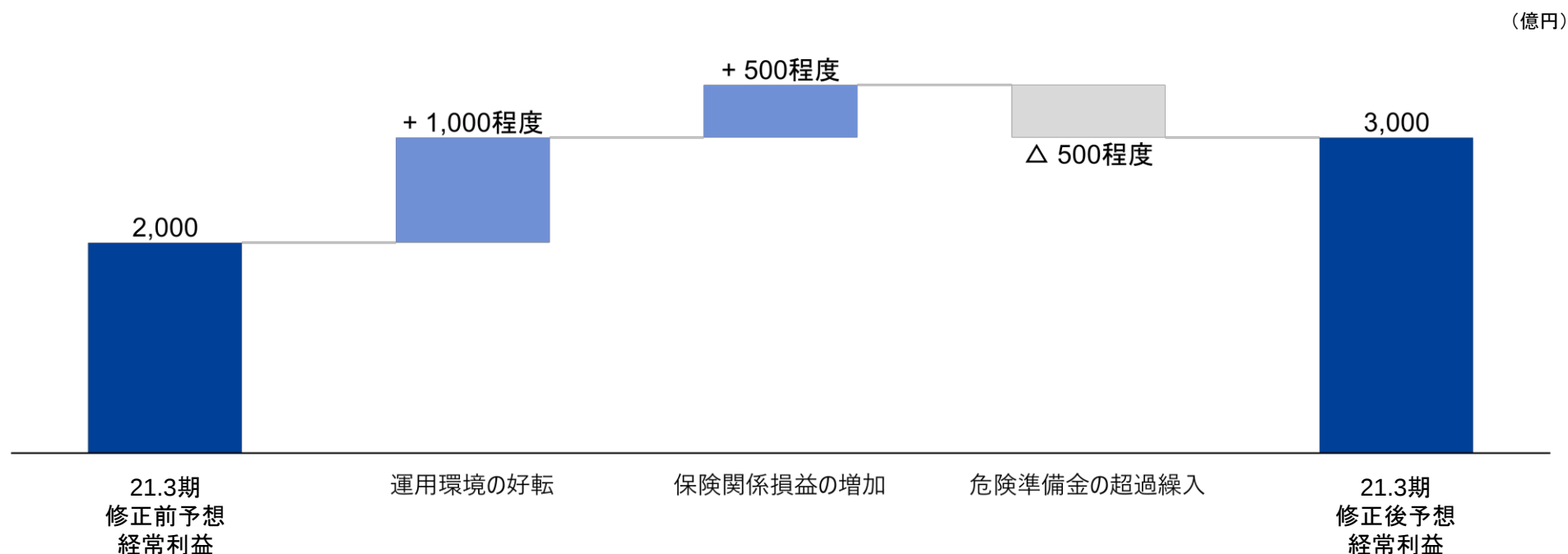
注1: 第三者の検証を受けていない試算値
注2: 将来の死亡率、失効解約率、事業費前提等について、2020年3月末のEVと同じ前提を使用
1. EVの変動要因から「経済前提と実績の差異」を除いた値

21年3月期 連結業績予想の修正（経常利益の変動要因）

■ 予想経常利益を2,000億円から3,000億円に上方修正

【修正理由】

- ①当初業績予想策定時¹と比較して運用環境が好転したこと
- ②保険金等の支払いが想定よりも減少することなどにより保険関係損益の増加が見込まれること
- ③危険準備金の超過繰入れ²を見込んでいること



1. 2020年5月15日に当初業績予想を公表。当初業績予想の策定に当たっては、2020年3月末の経済前提を使用
2. 旧区分において2021年3月末に危険準備金を財源とした追加責任準備金の積立と、危険準備金の積立水準の回復を図るための基準額を超える繰入れを予定している。ただし、関係当局に認可申請を行い、認可を取得することが前提

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う取扱い

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、個人の生活や企業経営等に多大な影響を与えている中、当社は生命保険会社としての社会的使命を果たすため、金融機能の維持や顧客保護の観点から、保険金の支払い等、必要な業務を継続できる体制を維持するとともに、お客さまを支える取り組みを実施

お客さまを支える主な取り組み

保険料の 非常取扱い	■ 保険料の払込猶予期間の延伸（最長9か月） ■ 払込猶予期間分の保険料の分割払込みの取扱い [2020年12月30日まで実施]
保険金の 非常取扱い等	■ 新型コロナウイルスの影響等による医療機関の事情により次のような場合も医師の証明書等をご提出いただくことで入院保険金の支払い対象として取扱い ・ 都道府県が用意した宿泊施設等において療養した場合や自宅療養した場合 ・ 入院による治療が必要であったにもかかわらず入院できなかった場合、または当初の予定より早い退院を余儀なくされた場合 ■ 新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた場合、死亡保険金に加えて「保険金の倍額支払」の対象とする取扱いを実施 ■ 請求時等の必要書類の一部省略
貸付利率の 非常取扱い	■ 普通貸付金に適用する利率の減免（利率0%） [2020年6月30日まで実施]
非対面での 一部請求 受付の実施	■ 非対面での請求ニーズの高まりを受け、お客さまからの要望に応じて入院保険金請求の郵送受付（お客さまと郵便局・支店の間での郵送による書類の授受）およびマイページからの請求受付を実施 ■ 保険料払込猶予期間の延伸について、かんぽWebサイト、コールセンター、郵便局・支店での電話受付を実施

【参考】取扱い実施件数（12月末時点）

項目		件数	金額
保険料の払込 猶予期間の延伸		16,113件	—
保険金の 支払状況	入院 保険金	4,900件	3億3,790万円
	死亡 保険金	433件 ※倍額支払は429件	15億2,457万円 ※倍額支払含む
普通貸付 （利息の減免）		31.4万件	1,345億円

新旧区分別 損益計算書（単体）

新旧区分別 損益計算書（単体）

（億円）

	17.3期		18.3期		19.3期		20.3期		20.3期 3Q		21.3期 3Q	
	新区分	旧区分	新区分	旧区分	新区分	旧区分	新区分	旧区分	新区分	旧区分	新区分	旧区分
経常収益 ¹	44,642	68,892	39,388	54,892	38,147	43,744	35,826	36,586	26,755	27,880	27,239	24,037
保険料等収入	40,390	10,028	34,812	7,552	33,695	5,903	27,863	4,591	21,733	3,523	17,737	2,789
資産運用収益 ¹	4,228	9,450	4,546	8,303	4,401	7,643	4,412	6,965	3,370	5,303	3,272	4,743
その他経常収益 ¹	23	49,413	30	39,037	49	30,198	3,549	25,030	1,652	19,053	6,229	16,504
経常費用 ¹	43,701	67,040	37,671	53,522	36,635	42,604	33,882	35,661	25,217	27,076	25,329	23,346
保険金等支払金	11,365	64,137	17,656	51,243	28,379	40,309	28,420	33,493	21,285	25,525	22,272	22,081
責任準備金等繰入額 ¹	26,940	-	14,747	-	2,725	-	299	-	21	-	0	-
資産運用費用 ¹	1,038	565	785	279	991	468	857	382	645	268	461	73
事業費	3,665	1,936	3,728	1,599	3,762	1,421	3,363	1,358	2,657	1,017	2,074	948
その他経常費用	690	400	752	398	777	404	942	427	607	265	522	243
経常利益	940	1,852	1,717	1,370	1,511	1,139	1,943	924	1,538	804	1,909	690
特別損益 ²	57	△ 126	△ 272	△ 170	138	36	93	298	8	91	△ 121	66
契約者配当準備金繰入額	156	1,370	216	961	196	921	154	937	116	696	137	547
税引前当期純利益	842	355	1,229	238	1,453	255	1,882	285	1,430	198	1,650	209
法人税等合計	217	95	354	69	411	87	549	107	405	68	463	112
当期純利益（又は当期純損失）	624	260	874	168	1,041	167	1,333	178	1,025	130	1,187	97

注：「旧区分」は簡易生命保険契約区分を源泉とする数値、「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた数値

1. かんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた際に、「新区分」の実績がマイナスとなる場合、調整を実施していることから、「旧区分」と「新区分」の合計がかんぽ生命全体の数値と一致しない
（例：21.3期3Qは、「資産運用収益」内の「為替差益」および「資産運用費用」内の「為替差損」に、それぞれ3億円を加算）
2. 特別損益には「価格変動準備金繰入額」、「価格変動準備金戻入額」を含む

新旧区分別実績（単体）

		17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	20.3期 3Q	21.3期 3Q
総資産	百万円	80,336,414	76,832,508	73,904,576	71,667,398	71,882,635	69,683,604
旧区分		51,447,550	46,684,937	41,354,076	39,225,493	39,567,643	37,869,228
新区分		28,888,864	30,147,570	32,550,500	32,441,904	32,314,991	31,814,376
保有契約件数	千件	31,562	30,405	29,143	27,070	27,738	25,377
旧区分（保険）		14,411	12,484	11,048	9,907	10,190	9,192
新区分（個人保険）		17,150	17,921	18,095	17,163	17,547	16,185
保険料等収入	百万円	5,041,868	4,236,461	3,959,928	3,245,541	2,525,729	2,052,722
旧区分		1,002,816	755,221	590,340	459,151	352,379	278,961
新区分		4,039,051	3,481,240	3,369,588	2,786,389	2,173,350	1,773,760
経常利益	百万円	279,347	308,845	265,143	286,829	234,281	260,019
旧区分		185,250	137,074	113,981	92,490	80,408	69,075
新区分		94,097	171,771	151,162	194,338	153,872	190,944
当期純利益	百万円	88,520	104,309	120,958	151,132	115,508	128,446
旧区分		26,044	16,878	16,763	17,806	13,000	9,702
新区分		62,475	87,430	104,195	133,325	102,507	118,744
危険準備金繰入額	百万円	△ 120,819	△ 139,678	△ 151,592	△ 165,388	△ 124,327	7,668
旧区分		△ 172,881	△ 173,722	△ 173,590	△ 170,814	△ 128,539	4,238
新区分		52,061	34,043	21,997	5,425	4,212	3,430
価格変動準備金繰入額	百万円	6,444	128,031	△ 19,251	△ 39,152	△ 9,835	5,389
旧区分		12,625	17,090	△ 3,686	△ 29,845	△ 9,132	△ 6,671
新区分		△ 6,181	110,940	△ 15,564	△ 9,306	△ 702	12,061
追加責任準備金繰入額	百万円	△ 50,454	△ 30,648	△ 50,292	△ 49,750	△ 36,430	△ 161,314
旧区分		△ 50,454	△ 47,674	△ 46,698	△ 46,396	△ 33,876	△ 159,087
新区分		-	17,025	△ 3,594	△ 3,354	△ 2,553	△ 2,227

注：「旧区分」は簡易生命保険契約区分を源泉とする数値、「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた数値

主要業績の推移（連結）

（億円）

	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	20.3期 3Q	21.3期 3Q
保険料等収入	50,418	42,364	39,599	32,455	25,257	20,527
経常利益	2,797	3,092	2,648	2,866	2,339	2,608
契約者配当準備金繰入額	1,526	1,177	1,118	1,092	813	685
当期純利益	885	1,044	1,204	1,506	1,150	1,290
純資産	18,532	20,031	21,351	19,283	23,664	27,116
総資産	803,367	768,312	739,050	716,647	718,832	696,840
自己資本利益率（ROE）	4.7 %	5.4 %	5.8 %	7.4 %	-	-
RoEV ¹	4.9 %	9.9 %	8.6 %	△ 2.8 %	-	4.2 %
株主配当	360	408	432	427	213	-
総還元性向 ²	40.6 %	39.0 %	118.9 %	28.4 %	-	-
EV	33,556	37,433	39,257	33,242	35,853	39,189
新契約価値	368	2,267	2,238	606	638	△ 28
基礎利益（単体）	3,900	3,861	3,771	4,006	3,004	3,097
保険関係損益	3,114	3,203	3,187	3,201	2,501	2,683
順ざや（利差益）	785	658	584	804	503	413

1. EVの変動要因から「経済前提と実績の差異」を除いた値。なお、20.3期3Qは変動要因の計測を実施しておらず、数値は記載していない。21.3期3Qは年換算後の値

2. 19.3期の値については、2019年4月の自己株式の取得（約1,000億円）を含めた総還元性向

＜免責事項＞

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想と異なる可能性があることにご留意ください。